



# アプリケーション ユーザとエンド ユーザ

Cisco Unified CallManager の管理ページの [アプリケーション ユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウおよび [エンド ユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウを使用すると、管理者は Cisco Unified CallManager のアプリケーション ユーザとエンド ユーザに関する情報を追加、検索、表示、および保守できます。この章では、ユーザ ディレクトリ情報を管理する際に使用するオプションについて説明します。

アプリケーション ユーザを追加し、そのユーザのアプリケーション プロファイルを設定する手順の詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーション ガイド』の「アプリケーション ユーザの設定」の項を参照してください。

エンド ユーザ情報を管理および更新する手順については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーション ガイド』の「エンド ユーザの設定」の項を参照してください。

この章の構成は、次のとおりです。

- [Cisco Unified CallManager JTAPI によるユーザ ディレクトリの使用方法 \(P.21-2\)](#)
- [アプリケーション ユーザ \(P.21-2\)](#)
- [エンド ユーザ \(P.21-3\)](#)
- [アプリケーション プロファイル \(P.21-3\)](#)
- [デバイスの関連付け \(P.21-4\)](#)
- [Cisco エクステンション モビリティ プロファイル \(P.21-6\)](#)
- [Cisco IP SoftPhone プロファイル \(P.21-6\)](#)
- [アプリケーション ユーザとエンド ユーザの設定チェックリストの管理 \(P.21-7\)](#)
- [参考情報 \(P.21-7\)](#)

## Cisco Unified CallManager JTAPI によるユーザ ディレクトリの使用方法

Cisco Unified CallManager Java Telephony Applications Programming Interface (JTAPI) は、ユーザ ディレクトリを使用してどのデバイスが制御可能か判別し、発信側(Cisco エクステンション モビリティ)のログインを開始するユーザなど)の Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレスを取得する目的で使用するインターフェイスを提供します。

Cisco JTAPI をインストールした後、Cisco Unified CallManager ディレクトリにアクセスすることができます。このディレクトリは、JTAPI を初期化するパラメータ、ユーザ プロファイル、アプリケーション ロジック、およびネットワーク固有の設定情報(たとえば、ネットワーク リソースの位置やシステム管理者の認証)を保存します。

### アプリケーション ユーザ

アプリケーション ユーザ設定を使用すると、Cisco Unified CallManager に関連付けられたアプリケーション ユーザを更新できます。デフォルトでは、Cisco Unified CallManager の管理ページには次のアプリケーション ユーザが含まれます。

- CCMAAdministrator
- CCMSystemUser

デフォルトのアプリケーション ユーザを削除することはできませんが、これらのユーザのパスワードを変更したり、ユーザが制御するデバイスのリストを変更したりすることは可能です。



(注)

デフォルトで、CCMAAdministrator パスワードは *ciscocisco* です。このアプリケーション ユーザ ID を使用する人は、ログイン後のできるだけ早い時期に、アプリケーション ユーザ用のデフォルトパスワードを変更する必要があります。

アプリケーション ユーザ情報を設定するには、Cisco Unified CallManager の管理ページで [ユーザ管理] > [アプリケーション ユーザ] メニュー オプションを使用します。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーション ユーザの設定」の項を参照してください。

## エンドユーザ

社内 LDAP サーバとの同期化が無効である場合にだけ、Cisco Unified CallManager の管理ページで新しいエンドユーザを追加できます。同期化が無効である場合、新しいユーザを追加することも、既存のユーザの設定（ユーザ ID を含む）を変更することもできます。同期化が有効である場合は、新しいユーザを追加することも、既存のユーザ ID を変更することもできません。ただし、既存のエンドユーザのその他の設定はすべて変更できます。

設定が有効かどうかを調べるには、Cisco Unified CallManager の管理ページで [システム] > LDAP > [LDAP システム] メニュー オプションを使用します。[LDAP サーバからの同期を有効にする (Enable Synchronizing from LDAP Server)] チェックボックスがオフの場合、同期化は無効です。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「LDAP システムの設定」を参照してください。

エンドユーザ情報を設定するには、Cisco Unified CallManager の管理ページの [ユーザ管理] > [エンドユーザ] メニュー オプションを使用します。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定」の項を参照してください。

[エンドユーザ、電話、DN、および LA の設定 (End User, Phone, DN, and LA Configuration)] ウィンドウを使用して、新しいユーザと新しい電話機を同時に追加できます。同じウィンドウを使用して、新しいエンドユーザの電話番号および回線表示を関連付けることができます。[エンドユーザ、電話、DN、および LA の設定 (End User, Phone, DN, and LA Configuration)] ウィンドウにアクセスするには、[ユーザ管理] > [ユーザ / 電話の追加] メニュー オプションを選択します。設定の詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ユーザ / 電話機の追加の設定」を参照してください。



(注)

[エンドユーザ、電話、DN、および LA の設定 (End User, Phone, DN, and LA Configuration)] ウィンドウでは、新しいエンドユーザと新しい電話機の追加だけができます。既存のエンドユーザまたは既存の電話機を入力することはできません。

## アプリケーション プロファイル

新しいアプリケーションユーザを追加した後、[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウの [CAPF 情報 (CAPF Information)] ペインで、そのアプリケーションユーザに関連付ける CAPF プロファイルを設定できます。アプリケーションユーザ CAPF プロファイルの詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』で「アプリケーションユーザ CAPF プロファイルの設定」の項を参照してください。

新しいエンドユーザを追加した後、[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウの [エクステンションモビリティ (Extension Mobility)] ペインおよび [CAPF 情報 (CAPF Information)] ペインのオプションを使用して、そのエンドユーザのアプリケーションプロファイルを設定できます。そのようなプロファイルを使用することで、各エンドユーザは Cisco エクステンションモビリティの個別設定ができ、エンドユーザ CAPF プロファイルを更新できます。エンドユーザ CAPF プロファイルの詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザ CAPF プロファイルの設定」の項を参照してください。

アプリケーションユーザのアプリケーションプロファイルの設定方法については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーションユーザのアプリケーションプロファイルの設定」の項を参照してください。エンドユーザのアプリケーションプロファイルの設定方法については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザのユーザ関連情報の設定」の項を参照してください。

## デバイスの関連付け

デバイスをアプリケーション ユーザまたはエンド ユーザに関連付けると、そのユーザは指定されたデバイスを制御できるようになります。アプリケーション ユーザとエンド ユーザは、電話機など一部のデバイスを制御できます。エンドユーザとして指定されたアプリケーションは、CTI ポートなど、他のデバイスを制御します。アプリケーション ユーザまたはエンド ユーザが電話機の制御権を持つ場合、その電話機の特定の設定（たとえば、短縮ダイヤルや自動転送）をコントロールできます。デバイスとユーザの関連付けの詳細については、次のトピックを参照してください。

- [アプリケーション ユーザのデバイスの関連付け \(P.21-4\)](#)
- [エンドユーザのデバイスの関連付け \(P.21-5\)](#)

## アプリケーション ユーザのデバイスの関連付け

デバイスを既存のアプリケーション ユーザに関連付けるには、[アプリケーション ユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウの [デバイス情報 (Device Information)] 部分を使用します。[使用可能なデバイス (Available Devices)] ペインに、アプリケーション ユーザへの関連付けに使用できるデバイスのリストが表示されます。[使用可能なデバイス (Available Devices)] ペインでは、デバイスがデバイス名順に表示されます。アプリケーション ユーザに関連付ける追加デバイスを検索するには、[別の電話を検索]、[別のルート ポイントを検索]、[別のパイロット ポイントを検索] の各ボタンを使用します。それぞれのボタンを押すとポップアップ ウィンドウが開き、そこにデバイスの名前、説明、またはその他のパラメータの全部または一部に基づいた検索条件を入力することにより、デバイスのリストを限定できます。使用可能なデバイスのリストを特定の選択項目に限定するには、次の方法で、検索する条件を入力してください。

- デバイスの名前、説明、電話番号など、検索パラメータを選択します。
- [が次の文字列で始まる] などの比較演算子を選択します。
- 検索テキストを入力します。

たとえば、「5」で始まるすべての内線番号をリストするには、[電話番号]、[が次の文字列で始まる] を選択した後、テキスト ボックスに 5 と入力します。

デバイスを表示するための検索条件を指定すると、その条件と一致する使用可能なすべてのデバイスが [検索結果 (Search Results)] に表示されます。ウィンドウの下部にあるボタンを使用すると、リスト内を移動できます。

そのデバイスの隣にあるチェックボックスをオンにすると、そのアプリケーション ユーザに 1 つ以上のデバイスを関連付けることができます。1 つのデバイスに複数の内線番号が関連付けられている場合、各回線の内線番号がリストに表示されます。1 つの回線の内線番号を選択するだけで、そのデバイスに関連付けられているすべての回線が選択されます。

デバイスをアプリケーション ユーザに割り当てる方法の詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーション ユーザとデバイスとの関連付け」を参照してください。

## エンドユーザのデバイスの関連付け

デバイスを既存のエンドユーザに関連付けるには、[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウの [デバイスの割り当て (Device Associations)] 部分を使用します。[制御するデバイス (Controlled Devices)] ペインに、すでにエンドユーザに関連付けられているデバイスのリストが表示されます。[制御するデバイス (Controlled Devices)] ペインでは、デバイスがデバイス名順に示されます。エンドユーザに関連付ける追加デバイスを検索するには、[デバイスの割り当て] ボタンを使用します。このボタンを押すと [ユーザ デバイス割り当て (User Device Association)] ウィンドウが開き、そこにデバイスの名前または説明の全部または一部に基づいた検索条件を入力することにより、デバイスのリストを限定できます。使用可能なデバイスのリストを特定の選択項目に限定するには、次の方法で、検索する条件を入力してください。

- デバイスの名前や説明など、検索パラメータを選択します。
- [が次の文字列で始まる] などの比較演算子を選択します。
- 検索テキストを入力します。

デバイスを表示するための検索条件を指定すると、その条件と一致する使用可能なすべてのデバイスが [ユーザ デバイス割り当て (User Device Association)] ウィンドウの [デバイスの割り当て] (該当のエンドユーザ) 部分に表示されます。ウィンドウの下部にあるボタンを使用すると、リスト内を移動できます。

そのデバイスの隣にあるチェックボックスをオンにすると、そのエンドユーザに 1 つ以上のデバイスを関連付けることができます。1 つのデバイスに複数の内線番号が関連付けられている場合、各回線の内線番号がリストに表示されます。1 つの回線の内線番号を選択するだけで、そのデバイスに関連付けられているすべての回線が選択されます。

デバイスをエンドユーザに関連付ける詳しい手順については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザとデバイスとの関連付け」を参照してください。

## Cisco エクステンション モビリティ プロファイル

Cisco Unified IP Phone を一時的にユーザの電話機として設定するには、Cisco エクステンション モビリティを使用します。ユーザがある電話機にログインすると、ユーザのエクステンション モビリティ プロファイル（回線番号や短縮ダイヤル番号など）がその電話機に常駐します。この機能は、電話機がユーザに恒常的に割り当てられていない環境で主に使用されます。

ユーザ デバイス プロファイルおよびデバイス プロファイル デフォルトは、Cisco エクステンション モビリティ機能をサポートしています。ユーザ デバイス プロファイルには、次の情報があります。

- デバイス プロファイル情報：デバイス タイプ、ユーザ デバイス プロファイル名、説明、ユーザ 保留オーディオ ソース、およびユーザ ロケール
- 電話ボタン情報：デバイス タイプに対応する電話ボタン テンプレート
- ソフトキー テンプレート情報：使用可能なソフトキー テンプレートのリスト
- 拡張モジュール情報：Cisco IP Phone 追加モジュール（Cisco モデル 7914 拡張モジュールなど）
- Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) 情報：MLPP ドメイン、通知、および優先処理の設定
- ログアウト デフォルト プロファイル情報：ログイン ユーザ ID

ユーザの認証は、認証方式で行われます。ワークフロー エンジンが、HTTP post 要求を介して XML ストリングをログイン サービスに送信します。ストリングは次の項目で構成されます。

- ログイン アプリケーションのユーザ名とパスワード
- ユーザがプロファイルを常駐させる先のデバイスの MAC アドレスに基づいたデバイス名

ユーザのデバイスに、ダイアログ プロンプトが表示されます。

Cisco エクステンション モビリティの詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco エクステンション モビリティ」を参照してください。

## Cisco IP SoftPhone プロファイル

デバイス（回線）を Cisco IP SoftPhone としてユーザに関連付けることができます。この機能により、ユーザはデスクトップ PC を使用して電話をかけた受けたりすることができ、また IP Phone を制御できます。

Cisco IP SoftPhone の詳細については、『Cisco IP SoftPhone アドミニストレータ ガイド』を参照してください。

## アプリケーションユーザとエンドユーザの設定チェックリストの管理

表 21-1 は、アプリケーションユーザとエンドユーザの情報を管理するための、一般的な手順とガイドラインを示しています。

表 21-1 アプリケーションユーザとエンドユーザの設定チェックリスト

設定ステップ		関連した手順と項目
ステップ 1	アプリケーションユーザを検索します。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーションユーザの検索」
ステップ 2	必要に応じて、アプリケーションユーザを追加します。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーションユーザの追加」
ステップ 3	アプリケーションユーザのアプリケーションプロファイルを設定します。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーションユーザの設定」
ステップ 4	エンドユーザを検索します。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの検索」
ステップ 5	必要に応じて、エンドユーザを追加します。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの追加」
ステップ 6	エンドユーザのアプリケーションプロファイルを設定します。	『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザのユーザ関連情報の設定」

## 参考情報

### 関連項目

- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーションユーザの設定」
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定」
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ユーザ / 電話機の追加の設定」
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「LDAP システムの設定」
- 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco エクステンション モビリティ」

### 参考資料

- Cisco IP SoftPhone アドミニストレータ ガイド
- Cisco IP SoftPhone ユーザ ガイド
- Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド
- Cisco IP Phone のユーザ資料とリリース ノート (全モデル)

